

## iFi 製品 MQA 対応 Q&A

### 第 1 回質問

#### 【質問】

iFi 製品をいくつか使用しています。そのうち、micro iDSD BL で、MQA の再生を行うことを考えており、ファームウェアの更新を行うべく、貴社の指定サイトに入ろうとしましたが、サイトが見つかりませんというメッセージが出てきます。サイトの URL ならびに更新の手順をご教示ください。

また、PC のソフトは Audirvana を予定していますが、他にも使えるものがありますでしょうか？なお、使用予定の PC は windows8.1 です。

#### 【回答】

この度は iFi audio 製品に関しましてお問い合わせを頂き、誠にありがとうございます。

micro iDSD BL に適用するファームウェアでございますが、下記のページよりダウンロードが可能です。

<http://ifi-audio.jp/firmwarenew.html>

こちらのページは iFi audio 公式サイトメニューバー「マニュアル-DL」の中に「iFi 製品の本体用ファームウェア」という項目がありますので、そちらをクリックすると移動可能です。

MQA 再生のためには、5.3/5.3C が必要です。最新版は 5.3C になります。

Windows 端末の更新方法は以下のページ詳細を載せております。

ファームウェアをダウンロード後、ご覧下さいませ。

<http://ifi-audio.jp/winfw.html>

micro iDSD BL を使った MQA 再生のためには、Windows 環境の場合、Audirvana Plus for Windows 10 が必要です。

Roon も MQA のコアデコードに対応していますが、比較的高価であり、ネットワークを使った総合的な音楽管理ソフトウェアになりますため、現実的には Audirvana Plus for Windows 10 をご提案することが多いです。なお、残念ながら Windows8.1 環境では Audirvana Plus は動作しません。

### 第 2 回質問

#### 【質問 1】

micro iDSD BL は、TIDAL の Master Quality 音源の再生が出来るのでしょうか？

### 【回答 1】

可能です。詳細は、下記 Blog の「TIDAL デスクトップ・プレーヤー」の部分に解説がございます。

<https://ifi-audio-jp.blogspot.com/search?q=MQA>

基本は、ストリーミングの設定を MASTERS に設定して、「Settings」→「Streaming」から iFi audio のドライバーを選択するのみです。

micro iDSD BL の場合は、MQA レンダラーなので、「Passthrough MQA」にチェックが入っていないことを確認してください。

なお、TIDAL は日本国内でサービスが正式にスタートしていないため、詳細な設定方法や動作についてはサポート対象外となります。

### 【質問 2】

そのためのファームウェアの更新は必要でしょうか？購入は発売直後でした。

### 【回答 2】

まずは、以下の方法で現在のバージョン確認を行ってみてください。

<WindowsOS における iFi audio 製 USB DAC の実装ファームウェア確認方法>

以下の順で表示可能です。(仔細を添付ファイルに示しますのでご参照ください)

-----

1. スタートマーク > すべてのアプリ > iFi (by AMR) HD USB AUDIO Control Panel を起動

2. Info タブ > Device Info 項 > Revision の表記を確認

-----

確認の結果、「5.3」もしくは「5.3C」であれば MQA 対応になっています。

もし、5.2 等の下位バージョンだった場合は、以下のアドレスから 5.3 をダウンロードしてバージョンアップを行っていただけますでしょうか。

派生バージョンの 5.3C でも構いません。音の好みでお選びいただけます。

[https://ifi-audio.com/firmware/Win\\_iFi\\_XMOS\\_V5.30.zip](https://ifi-audio.com/firmware/Win_iFi_XMOS_V5.30.zip)

### 【質問 3】

有償でも構いませんから、本体を送れば、ファームウェアの更新をお願いできるでしょうか。

### 【回答 3】

可能です。

しかしながら、ファームウェアは今後も新バージョンがリリースされ、新機能が追加される可能性があります。

ファームウェアはダウングレードも可能ですから、その用途や好みに応じて都度変更することができるのが本製品の強みでもあります。

そのため、できる限りお客様自身でのアップデートをお勧めしています。

もし、下記の説明を踏まえて、やはり難しい場合は再度のお問い合わせをお願い申し上げます。

Windows 版のアップデート方法は下記のページにございます。

文字が小さい・画像が小さい場合は、キーボードの「Ctrl」キーを押しながら「+」キーを同時に押す度に文字と画像が段階的に大きくなります。

<http://ifi-audio.jp/winfw.html>

《ファームウェアアップデート方法》

※上記ページと合わせてお読みください。

※あらかじめダウンロードした zip ファイルを解凍してデスクトップなどの分かり易い場所に保存してください。

①. iFi-Audio 製品を Windows コンピューターの USB 2.0 (あるいは 3.0) ポートに接続します。

②. スタート画面の何も無いところで右クリックし、[すべてのアプリ]をクリックします。

アプリ一覧画面より[ファイル名を指定して実行]をクリックし

C:¥Program

Files¥iFi¥USB\_HD\_Audio\_Driver¥iFiHDUSBAudio\_dfuapp.exe

と入力します。

③. 次にファームウェアを製品にアップロードします。

“Browse...”ボタンをクリックして、解凍したフォルダ内にあるファームウェアファイルの“iFi\_XMOS\_V5.30.bin”をロード(選択)します。

④. "Start"ボタンを押してファームウェアをアップグレードします。(数秒～数十秒で終わります)

正常に終了すると「Firmware upgrade finished successfully. (ファームウェアのアップグレードが正常に完了しました)」と表示されます。

Exit"を押して完了です。

【質問 4】

ファームウェアの更新と同時にドライバーの再インストールも必要でしょうか？

【回答 4】

必要ございません。

第 3 回質問

## 【質問】

迅速なるご回答ありがとうございました。

回答 2 に従い、Version を確認しますと、5.2 となっていました。試みに TIDAL の Master Quality の音源を再生しても、micro iDSD BL のランプは緑色で CD レベルの再生になっているようです。

そこで、ファームウェアの DL を回答 3 の内容に従い実施しました。

その次のインストールですが、最初の、回答 3 の「②. スタート画面の何もな  
いところで右クリックし、[すべてのアプリ]をクリックします。」からして、ど  
こをどうやってたどり着くかが分からず頓挫してしまいました。でたらめにや  
って故障するといけないので、本体を送ってファームウェアの更新をお願いし  
たいと存じます。つきましては、下記についてご連絡ください。

その他、回答 1 と回答 4 は了解しました。

- ① 送付先
- ② 送付ルート（直送または販売店経由）
- ③ 支払い条件（費用および振り込み先など）

## 【回答】

この度は、ご案内に分かりづらい点があったこととお詫び申し上げます。

なにとぞ、ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

なお、弊社アップデートプログラムの不都合やアップデートの失敗(エラーメ  
ッセージなど)があった場合は、お預かり対応の手順をご案内させていただきます。

その際、ご対応方法をご説明するにあたり、弊社発行の保証書とレシート（納  
品書など）の写真があるとスムーズですので、ご添付いただければ幸いです。

### ■[ファイル名を指定して実行]の使い方

ショートカットキー「Windows + R（Windows キーを押しながら、R キーを  
押す）」で「ファイル名を指定して実行」が左下に表示されます。

「名前」の部分に

C:¥Program

Files¥iFi¥USB\_HD\_Audio\_Driver¥iFiHDUSBAudio\_dfuapp.exe

と入力します。

他にも「ファイル名を指定して実行」の表示方法がございます。

《参考》

ファイル名を指定して実行ダイアログの表示方法

<https://www.relief.jp/docs/018250.html>

■次にファームウェアを製品にアップロードします。

“Browse...”ボタンをクリックして、解凍したフォルダ内にあるファームウェア

ファイルの“iFi\_XMOS\_V5.30.bin”をロード（選択）します。

■"Start"ボタンを押してファームウェアをアップグレードします。（数秒～数十秒で終わります）

正常に終了すると「**Firmware upgrade finished successfully.**（ファームウェアのアップグレードが正常に完了しました）」と表示されます。

Exit"を押して完了です。

#### 第4回質問

##### 【質問】

やはり危惧したとおり、うまく行かないどころか、故障してしまいました。

Firmware upgrade が失敗したとのメッセージが出て、エラーNo.は 0xEE000003 と表示されました。その上、PC 側の SETTING で micro iDSD を認識しなくなりましたので、故障と思われますので、修理と Firmware upgrade をお願いします。手続きについてご教示ください。なお、本体のシリアル No.のラベルの印刷が、かすれて読めませんが、外箱のバーコードの下に 2012002304 という数字があります。購入は、日本橋のアサヒステレオセンターで、2017年です。領収書は捨てていますので、購入時期などはそちらに聞いてください。

なお、同種のファームウェアの upgrade は、IO データ機器の fidata や、城下工業の SWD-DA20 でも実施の経験があり、これらの手順は分かりやすいものです。ちなみに友人の SWD-DA20 は、自分ではやらずに城下工業が無償でやってくれたそうです。本機のファームウェアの upgrade は手順が分かりにくく、ユーザーにとっては、非常にリスクの大きいものと思われるので、御一考の余地があると思われます。製品の機能が高いだけに、間違いを起こさない分かりやすい手順の開示や、アフターサービスの改善を要望します。

##### 【回答】

ご申告の内容を拝察いたしました。

ファームウェアのバージョンアップが失敗してしまったとのこと、ご心配をお掛けしたいへん申し訳ございませんでした。

一度失敗した場合でも、いくつかご案内出来る事項もありますが、これ以上ご迷惑をお掛けするわけには参りません。（これ以上のお客様の作業は不要です）

先日のご案内の通り、弊社リペアセンターでのご対応とさせていただきます。弊社環境でのアップデート実施および、音楽を再生しての動作確認ならびに付随する適切な対応を行わせていただきます。

製品をお戻しして、万一、PC からの認識が正常でない場合は、引続きサポー

トさせていただきます。

現時点でのご案内は差し控えますが、その場合もいくつかお試しいただけることがございます。

また、ファームウェアのバージョンアップの手順について、貴重なご指摘・ご意見をいただき誠にありがとうございます。弊社にて共有させていただきます。

つきましては、たいへん申し訳ございませんが、弊社リペアセンターでのご対応の流れをご説明させていただきたく存じます。この度は、修理対応というかたちで受付いたします。

なお、ご申告製品のご対応受付につきましては販売店様を経由する形で承ります。

たいへんご面倒をお掛けいたしますが、弊社サポートとのやりとりの経緯を添えて販売店様に対し製品に不都合が出ている旨をお伝え頂き、合わせて修理受付対応をご用命くださいませ。

なお、修理ご依頼時におきましては、以下の情報をご提示頂きたく存じます。以下の情報を漏れなくご提示頂くことをもって、弊社保証規定に沿い修理対応させていただきます。

---

▽今回ご申告の商品に関するご購入履歴の情報

⇒ 製品に添付される“弊社発行の保証書”（薄緑の紙です）

⇒ ご購入店とご購入年月日が証明できる領収書・納品書

※上記ご紛失の場合は、その旨販売店様にお申し出ください。

▽発生している状況についてのメモ書き

⇒ この度の挙動や表示内容を細かく明示頂きたく存じます。

⇒ 希望のバージョンを明記ください。(5.3 or 5.3C)

---

2017年のお求めとなりますと、保証期間は満了しておりますので、お見積もりは、販売店様を通じてのご案内となります。

## 第5回質問

### 【質問】

では販売店経由で送らせていただきます。

「この度の挙動や表示内容」は既に先のメールに記載していますので不要かと存じますが、販売店には伝えます。

併せて、ユーザーが危惧を感じるような指示を強制すること自体、ビジネスマナーとしてあり得ないことだと愚考しております。

追加です。

Version の 5.3 と 5.3C とはどこがどう違うのですか？

MQA 対応で安定的に再生できるのはどちらですか？

音質上の差はありますか？

【回答】

この度は、弊社製品のお取り扱いについて大変なご不快をお掛けし誠に申し訳ございません。

ファームウェアの 5.3 と 5.3C の違いは以下のページに記載の通りであります。

<http://ifi-audio.jp/firmwarenew.html>

※再生時の LED の表示色も違います。一覧表をご参照ください。

MQA 再生でどちらが安定する、安定しないということはございません。

また MQA 再生において両者に音質の違いはありません。

両者の大きな違いは iFi audio 独自の GTO フィルターがあるかないかとなります。

これは MQA をのぞく全ての PCM 信号を、8 倍オーバーサンプリング (352.8kHz/384kHz) を行って再生します。

5.3C は GTO フィルターを搭載しているため、非搭載の 5.3 との音の好みでどちらかをお選びいただいております。

オーバーサンプリングではなくネイティブで再生したいというお客様は 5.3 をお選びいただいております。

GTO フィルターならではの音が好きなお客様は、5.3C を適用いただいている場合が多いです。5.3C は派生バージョンなので、どちらにしようかお悩みのお客様には 5.3 をご提案しております。

以上、回答とさせていただきます。

## 第 6 回質問

【質問】

その後、いったん以前使用していた micro iDSD を繋いで動作確認した後、再び micro iDSD BL に戻すと、認識は回復しました。この状態で、Master Quality 音源を再生すると、ランプの色は黄色になっています。ファームウェアの確認を行うと v.5.3 になっているようです。

依頼内容は次のとおりです。

1) TIDAL からの認識は回復したが、ファームウェアの再確認を依頼したい。修復が必要であれば実施していただきたい。

2) ファームウェアの更新が正しく実施されていない場合は、ファームウェア

の v.5.3 (v.5.3c でなく) への更新を希望する。当初は v.5.2 であった。  
この時点でトップウイング代表殿にお会いする機会がありましたので、経過を説明し、確認もしくは必要な場合の処置をお引き受けいただきました。販売店にも同様の説明をしておきますので、よろしくお願ひします。

**【回答】**

この度は、大変なご面倒をお掛けし申し訳ございません。  
既に別途本件は伝わっており、お客様の状況やご依頼内容も担当部署にて共有されております。  
修理対応には、お時間を頂戴することになり誠に恐縮ですが、何卒ご容赦の程よろしくお願ひ申し上げます。

**第 7 回質問**

**【質問】**

ご教示いただいたファームウェア更新手順は、販売店でも分かりにくいと言っていました。

もう一台の micro iDSD の方は、v.5.3c の方に update したいと思っておりますので、絶対間違いを起こさないような分かりやすい手順をご教示ください。それでもリスクが残るとお考えならあらためて update を願ひすることになります。

**【回答】**

micro iDSD のファームウェアのバージョンアップ手順も下記にご案内いたします。

基本的に、以前ご案内した内容と同一です。

※あらかじめ、十分に充電した micro iDSD をご用意いただき、電源を切った状態で USB ケーブルを使って接続、接続後製品の電源を入れてご準備をお願いします。

(バッテリーモードでも構いませんが、ここではバスパワーモードをご紹介します)

※ファームウェアのファイルは、ダウンロード後、分かり易いデスクトップなどに解凍して準備をお願いします。

■[ファイル名を指定して実行]を使ってアップデートプログラムを実行  
(Window10、8.1 共通)

ショートカットキー「Windows + R (Windows キーを押しながら、R キーを押す)」で「ファイル名を指定して実行」が左下に表示されます。

「名前」の部分に

**C:¥Program**



Files¥iFi¥USB\_HD\_Audio\_Driver¥iFiHDUSBAudio\_dfuapp.exe

と入力します。

■次にファームウェアを製品にアップロードします。

“Browse...”ボタンをクリックして、解凍したフォルダ内にあるファームウェアファイルの“iFi\_XMOS\_V5.30.bin”（例）をロード（選択）します。

■“Start”ボタンを押してファームウェアをアップグレードします。（数秒～数十秒で終わります）

正常に終了すると「Firmware upgrade finished successfully.（ファームウェアのアップグレードが正常に完了しました）」と表示されます。

Exit”を押して完了です。

失敗する場合は、製品の接続のところからもう一度やり直して下さい。

アップデートは上記の手順で可能ですが、まれに何度やってもエラーが出て失敗することがあります。

その場合は、弊社サポートへご連絡をいただき、状況に応じたご案内事項をお試しいただくようお願いしております。

メールサポートでは解決できない状況になった場合や、弊社より点検を推奨する判断をさせていただく場合もありますので、その際は、販売店様経由にてお預かり対応となります。

上記は、弊社のサポートにもかかわらずバージョンアップができないケースのため、保証期間内であれば無償対応になることがほとんどです。

## 第8回質問

### 【質問】

ひき続き、やりとりしていますが、第7回のご回答を検証していただければ幸いです。

1)micro iDSD を v.5.3c の方に update したいという質問ですが、回答には、ファームウェアファイルの“iFi\_XMOS\_V5.30.bin”を選択とあります。本当にこれでいいのでしょうか？

2)質問には、「絶対に間違いを起こさないような分かりやすい手順」をご教示いただくようお願いしたのですが、「失敗する場合は、製品の接続のところからもう一度やり直して下さい。」とか、「アップデートは上記の手順で可能ですが、まれに何度やってもエラーが出て失敗することがあります。」とあります。やはり絶対に間違いを起こさないような分かりやすい手順は提示できないという理解でいいのでしょうか？

3)この種の手順では、画面を表示し、ここをクリックするとか、何を入力するとかが指示されているのが通例です。このような手順の提示はできない

ということでしょうか。例えば、「**Browse...**」ボタンをクリック」とありますが、具体的にどの画面のどのボタンかというようなことです。

もし、これ以上の詳細な手順をご提示いただけないなら、少し熱も冷めかけていることから、敢えてリスクを取らず、本件はあきらめようかと思い、レポートもそのような記述でクローズすることになります。